

働き続けられる、やりがいある仕事と職場に 県市町振興課へ職場の実状を伝えて要請



第563号

発行所
自治労連愛媛県本部
松山市三番町8丁目10-2
電話(089)931-7312
FAX(089)933-1699
jehime@sage.ocn.ne.jp
発行人 森賀 俊二
編集人 和氣 伸二
(組合員の個人情報は組合員の
同意なく含まれていません)

日 程

- 【12月】
 - 21 ココロユニオン学習会
 - 27 現業評県教委給食要請
- 【1月】
 - 9 新春宣伝行動
 - 12 2024新春合同旗びらき
 - 13 県本部拡大執行委員会・組織集会(～14)
 - 20 自治労連青年部全国委員会(京都)
 - 自治労連女性部全国代表者会議・春闘集会(web)
 - 26 自治労連中央委員会(京都～27)
 - 27 愛媛労連中央委員会(共済会館)
- 【2月】
 - 3 自治労連非正規全国交流集会(大阪～4)
 - 10 県本部2024中央委員会
 - 18 地域医療・公立病院充実を求める学習・集会(東京)
 - 19 医療関係府省要請・団体懇談(東京)
 - 24 自治体保育労働者の全国集会in静岡(～25)

賃金、時間管理、定年引上げ、会計年度職員など改善要請

県本部は11月13日「県市町振興課」へ要請。8単組(新居浜文体労組・西条・今治・今治水道・伊予・内子・西予・書記労十県本部)9人が参加。県側は課長ら6人が対応。※以下やりとり抜粋、文責県本部。



《県市町振興課要請》

①給与勧告の取り扱い、賃金引上げ、初任給改善
《県》地方公務員の給与では、給与水準は地域民間給与をより重視し、給与決定の諸原則、国・県勧告等踏まえて適切に対応するよう助言している。
【県本部】県内初任給は県職員大卒初任給が20万円を超え、松山・西予・東温も同様で、初任給20万円超はインパクトがあり人材確保に重要と思う。初任給を引き上げ、人材確保につながるのと判断は各市町で行ってよいか。
《県》人がいなければ仕事はできない。それぞれの判断において人材確保のために重要な観点だと考えている。

②労働時間の把握・管理、長時間労働是正、人材確保、人員増
《県》労働時間把握は、管理職も含め客観的・適切な方法により、労働時間を把握することが求められている。繰り返し基礎事項の徹底を市町に助言していく。
【単組代表】一番大きな問題は若手の早急な退職。仕事は増えるが減らず、人も増えない厳しい状況。【単組代表】タイムカードがなく、時間外は自己申告。改善はされたがまだ徹底できていない。
【単組代表】時間外勤務手当は命令を受けて2時間までとされている。
《県》風潮を変えるには各市町のとりわけ幹部の意思が重要。1～2時間は申請するなどという団体があることは把握しており対応を助言していく。
③子育て・疾病治療などの両立支援
【県本部】治療しながら勤務する方法も確立されてきた。病休の時間単位取得など柔軟対応を。病休を180日に拡大など、



④定年引上げ、高齢職員の働き方・給与水準
《県》定年引上げで、スタッフ職だけでなくライン職として係長や非管理職の役割を果たす運用も聞いている。当然、職務にに応じた処遇が重要。
【単組代表】公園管理の仕事で現場作業だが55歳昇給停止で給与が上がらない。維持管理費が削減され、業者に出せず依頼が増え、労働強化されている。60歳以降給与一律7割で労働強化では、モチベーションが下がる。
【単組代表】定年引上げで給与7割になるなか、再任用給与はすべて1級の市町もある。私たちがいずれそうなるときに満足な仕事ができるのか。30～40年働いた経験は色あせない。県内市町の大きな差を埋める助言を。
《県》職務に応じた格付、適切な対応を助言したい。

⑤会計年度任用職員の処遇改善
《県》会計年度任用職員の給与水準は職務給の原則等にもとづき、決定する必要がある。月例給の遡及改定や勤勉手当の来年度支給は市町で対応中と考えている。休暇等制度は国の非常勤職員との均衡が求められる。任用は各市町の判断で必要人員を配置するのが原則。
【単組代表】前からいる人を経験値があるのに辞めさせる。新しく雇用が生まれるのではなく、働けない人も作っているのが改善されないか。
《県》会計年度任用職員の制度が期間で働く者を募集する制度。その雇用形態の是非もあるが、現行法制度の運用では不平等取り扱いが許されない。
【県本部】給与改定の4月遡及をしない意向の県



⑥持続可能な地域医療・自治体病院
【県本部】西予市立2病院・1介護施設に指定管理者制度導入提案があった。総務省の公立病院改革プラン中に指定管理者制度の受託もメニューにあり、この支援事業は県を通してとなっている。性急な指定管理者制度導入はやめるよう指導を。
【単組代表】病院職員の離職の動きがある。経営体制強化ではなく医療崩壊が起りかねない。
《県》総務省の支援事業は、地域医療がどうあるべきかを分析・支援する事業との認識している。地域医療の維持確保へ持続可能な医療体制が残されるよう国へも要望していく。

【伊予青年部】 青年部がボードゲーム大会& 忘年会開催 ちょっとしたハッピー報告も



伊予市職労青年部は12月2日、松山市内で「青年部主催の忘年会」を開催しました。まず、14人が参加して「ボードゲーム大会」で楽しんだ後、忘年会会場へ移動。忘年会には30人が参加しました。途中で実施したジャンケン大会では、1位・2位・3位と最下位の方に景品の贈呈があり、盛り上がりました。みなさんから「ちょっとしたハッピーな報告」もあり、大いに盛り上がった「青年部忘年会」となりました。



【宇和島】『休暇』と『差額』学習会開催 質問多数。改めて権利について確認

宇和島市職は11月28日、『休暇と差額』の学習会を開催。はじめに河野執行委員長が、同日に行われた団体交渉の報告と11月初旬に提出した要求書の回答報告もかねて開会あいさつ。県本部の森賀委員長を講師に「休暇制度」の説明を聞き、ライフステージごとにそれぞれの休暇制度について詳細に解説。その後、松下副委員長が「人勤の4月遡及による差額」について解説し、それぞれ自身の差額についても実際に計算しました。基本の説明を終えての質問タイムでは「介護休暇は介護認定が必要ですか」など、積極的に質問が出され、改めて権利状況を認識でき、有意義な時間を過ごすことができました。



【新居浜】4年ぶりプチ『愛彩会』開催 子どもも大人も心と体を癒す交流

新居浜市職労は11月22日、婦人部イベント「プチ愛彩会」を4年ぶりに開催しました。業務終了後、地域の公民館をお借りして大人30人、子ども25人の合わせて55人が集まり交流しました。おにぎりやサンドイッチなどの軽食を準備してお腹を満たしつつ、アロマキャンドル作りやカイロプラクティックなどを楽しんでいただき、心や体を癒してもらいました。子どもたちも開放された体育館で、思いっきり走りまわっていました。業務終了後という限られた短い時間でしたが、和気あいあいと交流ができました。

【津島吉田病】 新型コロナ後、初の大会実開催 組合活動への参加協力よびかけ

津島吉田病院局労組はとあいさつ。運動方針では「地域の医療・介護を守り、公立病院・施設の充実」「労働条件の改善と働きがいがある職場づくり」など全会一致で承認。赤松新委員長が「組合員のみなさんの支えが必要で、活動に積極的に参加協力を」など決意を語り、団結カンパローで終了しました。



【今治水道】 市民の水道への要望に応えるため 人員確保・技術継承を要求しよう



今治水道労組は11月22日「第72回定期大会」を開催し組合員15人と来賓3人が参加。河上委員長が「先輩から積み重ねられ72回目の大会となった。市民からの水道への要望が年々高まっている。それに応えるために、組合員が団結して要求してい

【山】 定期大会で現業スキルアップ、 公的保育守る方針など確認



松山市職労は11月27日定期大会を開催し71人が参加。高橋委員長は「今年、悲願の現業正規採用が始まった。そのきっかけとなった『ふれあい収集』は県内だけでなく全国でも注目されている。11月県自治研で、各自治体から質問が相次ぎ実感できた。引き続き、現業職の拡大と労働条件の改

【労安委員会】 久々に開催、役員と方針を確認 調査結果もとに各単組状況交流



11月23日、県本部労働安全衛生・職業病対策委員会を開催し、4単組5人が参加。経過と全国のとりくみを報告し、委員長と事務局長を新たに選任。活動方針として「労働者の『健康で安全に働く権利』を守ることは労働者の『いのちを守る』、その家族の『生活を守る』こと、労働組合の最大の責務」であることを確認し、この委員会を軸に他市町の委員会のとりくみを情報共有し、労働条件改善につなげることを、当面の課題ととりくみを確認。「健康状況調査」と「労安衛生委員会の状況一覧」も見ながら、単組での目下の課題を出しあいました。

【伊予】 毎年実施の「長時間労働調査」で 職場訪問しアンケート配り意見交換



伊予市職労は11月21日「長時間労働調査」を実施。まず18時30分に集合し、残業中の職員へ手渡しアンケートへの回答を依頼、最近の勤務状況の聞き取りや組合のとりくみなど意見交換をしました。2回目は21時の調査を実施、1ケタの職員の残業を確認しました。参加した役員からは「業務も大

給与、定年、非正規など課題確認 次へつなげていく活動を提起



12月6日、県公務員共闘会議（県教組・県国公・自治労連）は「23年定期総会」を開催し21人が参加。開会にあたり、加藤議長が「つながりを大事に、組員も、パトナッチを真剣に考えていきたい」などあいさつ。経過報告では、春闘期要請から県人勧期の署名提出・要請、など活動を報告。新役員を選出しました。

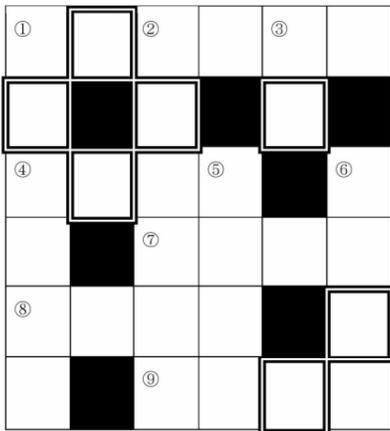
マス目を埋め、二重枠の7文字で四字熟語にして下さい。

【ヨコのカギ】

- ① 仕事から帰宅しているところ。 ○○○○○○に寄り道
- ④ 年数を経た木。 古木
- ⑦ サグラダファミリアを設計、アントニオ○○○○
- ⑧ 毒を含んだ液体。 毒汁
- ⑨ 陸軍編制上の一単位、師団と連隊の間

【タテのカギ】

- ① 話の内容や話し方が要領を得ない様子。 ○○○○○○な答え
- ② ある場所で用を済ませすぐ戻ってくること
- ③ 日本の通貨単位
- ⑤ 実質的な内容や価値がない。むなしいこと
- ⑥ 死後のために言い残しておくこと



出題者 堀川孝行

■561号のパズルの答えは「エンドウシユウサク」（露藤周作）でした。正解は17通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。（敬称略）

永易 優子（新居浜）
山里 敬一郎（西予）
久葉 加代（新居浜）
木村 朱里（今治）
岡本 文英（伊予）

【応募方法】パズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。
【送り先】自治労連愛媛県本部バズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可) 1面題字下に記載
【締切り】1月27日【発表】565号(2月号)

おたより ありがとう

■ボーナスが少しアップしたのでうれしいです。
（新居浜・久葉）

■ついこの間まで夏日がなりました。秋がだんだんなくなっていくように心配な今日この頃です。
（新居浜・藤井）

■風景写真撮影が趣味です。冬の夜空が上手に撮れるようになります。
（松山・貝崎）

■来年年度人員配置が本格化してきました。人員削減の方向です。話し合いで確保していきたいです。
（新居浜・黒川）

■本を読むことはとても好きですが、最近なかなか読む時間を捻出できていないことに気づきました！
（新居浜・筒井）

■大人になって読書をする習慣がなくなり、本屋へも立ち寄りなくなりました。旅先で1冊の文庫本を思い出し、スマホで読書を楽しみ、スマホデトックスを意識しています。
（新居浜・西原）